

「見立てる楽しさ・・・3歳児の世界」

3歳児は色や形から見立てることがとても上手です。生活の中で経験したこともすぐに遊びに取り入れる天才です。1学期に見られた素敵な見立てをいくつか紹介しましょう。



タイヤ交換してまーす



ガリガリくん、買ってきたよ～

粘土をタイヤの形に頑張って合わせました。

四角で青い色が大好きなアイスに見えたのかな？



ねゆ!

最初は意味がわかりませんでしたが、家族で温泉に行ったことを話し出しました。「パパは好きなんだよ。寝湯！」そうです、温泉にある浅いお風呂の見立てでした。

種まきしてるの・・・

3歳児は言葉も少なく、不明瞭で聞き逃すこともよくあります。しかし、そのつぶやきと動き、思い描いた世界がわかると思わず笑みがこぼれます。腰を少し曲げながら、あちこちに種まきしていました。素敵な物が実るといいですね。



これ、な～に？

だんごむしだよ!

磁石でつながるブロックですが、まさかのダンゴムシ! ケーキでもピザでもありませんでした。



初めてのはさみは、細長い紙を切ってピザを作りました。切るのが楽しくて、トッピングがいっぱいのピザがたくさんできました。

ピーマンとチーズ、トマトものせなきゃ!



私はクレープにする〜チョコもちょうだい!

トマトソースはイチゴソースになり、トマトはいちごに見立てられました。チョコレートや生クリームもほしくなったようです。先生が用意した物から、さらに発想を広げていく3歳児に驚きです。このあと、ピクニックにクレープを持っていきました。

「洗車ごっこ」も始まりました。それぞれの洗車場かと思ったら、どうやら入り口や出口もあります。

車や三輪車の行列ができました。

ガソリンいれてるの



下から流れ出す水に気がつかず、ずっとガソリンを入れ続ける子もいます。

洗車したら、ちゃんと拭かなきゃね



大人への憧れ、生活の中で経験したこと、すべて子どもたちの遊びになります。3歳児の見立ての世界、素敵ですね。